

**栃木文化会館施設整備基本計画（素案）に関するパブリックコメントの
結果及びその回答について**

- | | | |
|---|---------|---------------------------|
| 1 | 実施期間 | 令和6年3月19日（火）～令和6年4月18日（木） |
| 2 | 意見の提出方法 | 書面で直接、郵送、ファクシミリ又は電子メール |
| 3 | 意見の提出数 | 18件（4名） |

※パブリックコメントの結果表を作成するにあたり、いただいたご意見を項目ごとに整理し、栃木文化会館施設整備基本計画（素案）のページ番号を記載しました。

No.	意見の概要	市の回答
1	【長寿命化・安全確保について】（7 ページ） ・建屋の基本改修をしっかりと。配管・配線・エアコン等の改修は新築レベルに。地域住民に愛される「安全最優先の周囲に優しい文化会館」への改修を期待する。	改修後 30 年間使用できるようにするため、開館当時の機能まで回復させるための改修を行います。
2	【長寿命化の推進（小ホール）】（8 ページ） ・駐車台数が少ないため、小ホールは、リハーサル室や会議室、練習室として使える多目的ルーム化し、音響設備改修や座席の入れ替えは行わないことを提案する。	小ホールの機能については、設計の中で検討いたします。
3	【長寿命化の推進（外装タイル改修）】（9 ページ） ・外壁タイルの新素材化は反対する。現在のタイルをはがした後は素地の防水加工のみとし、定期的に防水塗装を施せば良いのでは。	外壁の改修については、経済性を含め、設計の中で検討いたします。
4	【安全確保（天井耐震性強化）】（10 ページ） ・ホールの天井・客席改修にあたっては、演奏者へのヒアリングや専門家による音響測定、シミュレーションなどを実施し、設計（材料選定、天井形状）に反映し、響きの良いホールになるようにしてほしい。 ・大ホールの音響は岩舟文化会館に負けないものにしてほしい。	ホールの天井改修等にあたっては、音響を損なうことのないよう、設計の中で検討いたします。

5	【安全確保（外構改修）】（10 ページ） ・木の根がインターロッキング破損や事故の原因になっているため、大幅な撤去を提案する。 ・落ち葉や虫害等の問題があるため、民地との境界の生垣の伐採も提案する。	インターロッキングの改修に合わせて、影響の大きい樹木の伐採を計画いたします。 その他の樹木についても、設計の中で検討いたします。
6	【文化施設機能の向上（全体）】（10 ページ） ・基本計画（素案）に賛成する。より使いやすい施設となるよう、関係者（指定管理者・舞台管理業者・舞台照明音響業者・イベンター・出演者など）の意見を十分にヒアリングし、設計に反映するとともに、改修中も定期的に打ち合わせを実施してほしい。	舞台設備の改修については、関係者へのヒアリングを行うとともに、設計に反映できるよう検討いたします。
7	【文化施設機能の向上（プロジェクター）】（10 ページ） ・様々な舞台演出に対応できるように、背面からの投影も可能な透過型スクリーンならびに高輝度のビデオプロジェクターへの更新を要望する。	スクリーン及びプロジェクターの性能については、設計の中で検討いたします。
8	【文化施設機能の向上（シーリングスポット室）】（10 ページ） ・改修が計画されている大ホールのシーリングスポット室について、小部屋は舞台側をガラス張りとして遮音性を確保し、個別空調やモニタースピーカー、手元調光可能な室内照明を備えるなど、操作者の作業性に十分配慮してほしい。	シーリングスポット室の改修については、作業性に配慮することを設計の中で検討いたします。
9	【文化施設機能の向上（その他）】（10 ページ） ・現在の調光室位置（大ホール 2 階 上手フロントサイド）では、舞台全景の目視が困難であり、照明演出に支障が生じると考えられることから、現映写室（大ホール客席後部）への移設を要望する。	調光室の位置については、移設が可能であるかも含め、設計の中で検討いたします。
10	【文化施設機能の向上（その他）】（10 ページ） ・大ホール 1 階西側の廊下に間仕切りを設置し、楽屋を増設することが可能であるか検討してほしい。	楽屋の増設については、可能かであるかも含め、設計の中で検討いたします。

11	【文化施設機能の向上（その他）】（10 ページ） ・大ホール搬入口前のスペースが狭く、大型トラックの駐車が困難なため、北側道路まで直線状にスロープを新設できないか検討を要望する。 ・搬入口を入った上手脇舞台（ピアノ庫前）の天井が低く、大道具の荷さばきに支障があるため、改善のための検討を併せて要望する。	搬入口の機能向上については、スロープの新設が可能であるか等も含めて、設計の中で検討いたします。
12	【利便性の向上（トイレの全面改修）】（11 ページ） ・洋式化、ウォシュレット化、多目的トイレは賛成だが、食堂のトイレ化には疑問がある。イベント休憩時間のトイレの混雑を解消するための増設であるのなら、食堂跡で良いのか疑問。	トイレの増設場所については、設計の中で再度検討いたします。
13	【利便性の向上（駐車場）】（11 ページ） ・あさひ公園の駐車場化を支持する。現在の駐車場は一台の区画がせまいので、安全優先でレイアウトも見直すべき。軽自動車専用枠も増やしては。	駐車台数を確保するため、あさひ公園を駐車場化する方向で検討いたします。 レイアウト等については、設計の中で検討いたします。
14	【ランニングコストの縮減（照明の LED 化）】（13 ページ） ・舞台照明の LED 化器具の選定にあたっては、明るさや使いやすさなどを十分に考慮していただくよう要望する。 ・従来の電球型照明器具を持込使用する催事も多いことから、調光設備（調光器の数および容量、コンセント配置）についても配慮されるよう要望する。	器具の選定については、ランニングコストの縮減だけでなく、使いやすさにも配慮するよう、設計の中で検討いたします。

【その他の意見】（休館中の代替施設について） ・3年間も展示室が使えないのは非常に残念。他の場所の工事の時には使えるようにしてほしい。 ・休館中の代替施設について検討してほしい（特に展示室）。 ・代替施設として民間施設の借り上げはできないか。 ・休館中の文化活動をどうするのか、活動場所検討委員会の設置を提案する。	今回の改修については、全館が対象となる工事であり、ほぼすべての設備、配線、配管等を更新することから、工事期間中は電気・水道が使えない状態になります。そのため、工事をしていない部分を貸し出すことができませんので、ご理解いただきたく存じます。 休館中の活動場所については、利用団体へのアンケート調査をはじめ、個別相談会等を実施し、利用者の不安解消に努めるとともに必要な支援を行ってまいります。
---	--